

畳100枚分の大凧、豪快に舞う

東近江の河川敷

国選択無形民俗文化財「八日市大凧（お
おだこ）まつり」が25日、滋賀県東近江
市建部北町の愛知川河川敷で開かれ、昨年
新調された畳100枚分の大きさの凧「共
生」が豪快に大空を舞った。



男子の誕生を祝い江戸時代中期に始ま
ったという伝統行事。会場ではほかにも全
国から集まったさまざまな凧が揚げられ
た。

多くの観客が見守る中、空へ舞い上がる百
畳敷大だこ（東近江市建部北町の愛知川河
川敷）

大凧は縦約13メートル、横約12メートルで重さは約700キロ。絵柄は
「共生」がテーマで「喜（き）」という字の左右に2羽の鷹（よう）を描き、
下に「生（せい）」の字を大書している。

大凧が風をいっぱいを受けて空に舞い上がると、集まった人たちから大きな歓声が起こ
った。大凧は3分35秒の長時間に渡り大空を彩った。